

■ 東京都×順天堂大学による医療現場への「やさしい日本語」導入・普及事業とは？

東京都では、都民の誰もが安心して医療を受けられるよう、医療現場への「やさしい日本語」の導入・普及を推進し、患者と医療現場の間における、より円滑なコミュニケーションの実現を図ることを目的とした事業を、令和4年度・5年度に実施しています。

(東京都HP：<https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/teian/4daigaku/daigaku05.pdf>)

連携事業者である順天堂大学では、令和5年度事業の一環として、**地域における持続可能な医療者研修の発展**につながることを期待し、東京都23区部・26市部のうち、20地域を目標に地域での対面型研修プログラムの実施を企画しています。

令和4年度実績：オンライン研修会を毎月第1、3、5土曜日に19回開催（参加者延べ人数163名、外国人模擬患者延べ人数49名）。都内の医療機関や大学医学部、看護学部等を対象にした出前研修を20回実施（9回が医療者、8回が医育機関（医学部、看護師養成校、社会福祉士養成校）の学生、3回がFD（教員対象）、参加者延べ人数880名、外国人模擬患者延べ人数81名）。

■ 地域での研修内容

対象者：医療関係者（医師、看護師、保健師、受付スタッフ等）

1 やさしい日本語についてのレクチャー 知る

2 外国人模擬患者とのグループワーク 実践する

3 フィードバック・感想のシェア 深める

実施体制（例）：

共催／東京都、順天堂大学（連携担当 CINGA）

協力／国際交流協会や外国人支援団体に依頼

後援／東京都医師会



特設ウェブサイト（i-plainjapanese-tokyo.info/）



医療関係者と外国人模擬患者のロールプレイ

■ 地域での研修実施までのステップ

研修会のご提案（企画者→医療関係機関）

- ①実施目的の協議と実施日や会場の決定
- ②研修内容の検討（講演会・ワークショップ形式など）

医療関係機関のご担当者さまへのごお願い

- ③研修会の広報・参加者募集・企画者との調整

地域の医療関係者向け研修実施

医療者と地域の外国人支援団体との情報交換と連携

**医療における外国人支援ネットワークができ、
今後も継続的な関係性ができる**